

SHIRAKOBATO

# しらこぼと



2003. **S**

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 232

日本野鳥の会 埼玉県支部

## 平成 15 年度(第 19 回)支部総会を開催

平成 15 年 6 月 29 日(日)午後 1 時 30 分  
から、さいたま市民会館うらわ 7 階研修室で、  
支部総会を開催しました。



### ●記念講演

司会は楠見邦博が担当  
して、記念講演は、鈴木  
正男本部常務理事(左写  
真)の「日本野鳥の会の  
今と未来」。現在進行して  
いる会の活動と、それが  
どういう未来を目指して

いるのかについてのお話でした。

### ●議長などを選出

海老原美夫副支部長の開会の挨拶で総会  
が始まり、田邊八州雄が議長に、後藤康夫が  
書記、菱沼一充・玉井正晴が議事録署名人に  
選出されて、議事に入りました。

### ●14 年度事業報告と 15 年度事業計画(案)

海老原美夫事務局担当副支部長が平成 14  
年度に実施した事業について説明し、榎本秀  
和普及部長・山部直喜編集部長・福井恒人事  
業部長がそれぞれ補足説明、学校・公民館な  
どの探鳥会を指導した担当者が、普及活動に  
関して実例報告をしました。

事業報告書の主な内容は次の通りです。

#### [総務・事務局関係]

14 年度末の会員数は 2,578 人。引き続き減  
少したが、減少率は少し小さくなった。

本部の理事会・評議員会と関東ブロック協  
議会などに参加した。

#### [普及活動関係]

普及部(部長:榎本秀和)が担当した探鳥  
会は、実施 108 回、1 ヶ月平均 9 回。参加者  
合計 4,058 人、1 回平均 37.6 人。実施回数は  
増加したが、合計参加者数と 1 回平均参加者  
数は少し減少した。

#### [調査研究関係]

研究部(部長:小荷田行男)はタカの渡り、

カモ・ハクチョウ類、シギ・チドリ類の調査  
を継続した。

記録委員会(委員長:小林みどり)は 5 種を  
県内まれな例として、2 種を初の記録として  
それぞれ記録し、2 種について県内で確認し  
た人は報告してほしいと呼びかけた。

#### [編集活動関係]

編集部(部長:山部直喜)は『しらこぼと』  
を年 12 回、合計 28,800 部発行した。

#### [事業活動関係]

事業部(部長:福井恒人)は目標売上額に  
達することができなかった。

15 年度事業計画(案)は、基本的な従来の  
活動を確実に継続する方針が説明され、それ  
ぞれ承認されました。

### ●14 年度決算と 15 年度予算(案)

事務局担当副支部長が、14 年度はすべての  
支出が予算より低く押さえられたこと、仮払  
金の清算、あるいは仮払金残というのは、普  
及部費用と編集部費用を予算額そのまま仮払  
金として一時支出し、次の年度で清算してい  
るものであることなどを説明しました。

楠見邦博・岡安征也両監事が監査報告をし  
て、引き続き説明された 15 年度予算案とも  
に異議なく承認されました。

### ●15 年度役員



和田康男前幹事から、健康上の理由で退任  
したいとの申し出が役員会に寄せられました。  
前年度役員のうち同人を除く 33 名を再任、新

たに石川敏男（前ページ下左）・石光章（前ページ下右）の両名を推薦する案が承認されました。

新役員2名の挨拶の後、総会を一時中断して15年度役員による最初の役員会を同じ場



所で開催、仕事上の理由で（幹事としては続けるが）支部長を退任したいと申し出のあった中島康夫にかわり、藤掛保司（左）が支部長に就任、その他は前年度と同じにすることになりました。

平成15年度役員

- |      |       |       |
|------|-------|-------|
| 顧問   | 鈴木忠雄  | 熊谷市   |
|      | 松井昭吾  | さいたま市 |
| 支部長  | 藤掛保司  | 川越市   |
| 副支部長 | 海老原美夫 | さいたま市 |
| 幹事   | 石井 智  | 鴻巣市   |
|      | 石川敏男  | 春日部市  |
|      | 石光 章  | 所沢市   |
|      | 伊藤芳晴  | 川口市   |
|      | 榎本秀和  | 鴻巣市   |
|      | 大坂幸男  | 上尾市   |
|      | 北川慎一  | 本庄市   |
|      | 工藤洋三  | さいたま市 |
|      | 倉林宗太郎 | さいたま市 |
|      | 小池一男  | 寄居町   |
|      | 後藤康夫  | 嵐山町   |
|      | 小荷田行男 | さいたま市 |
|      | 小林みどり | 大和市   |
|      | 佐久間博文 | 川越市   |
|      | 島田恵司  | 鴻巣市   |
|      | 杉本秀樹  | 習志野市  |
|      | 高草木泰行 | 新座市   |
|      | 田中幸男  | 蓮田市   |
|      | 田邊八州雄 | 越谷市   |
|      | 玉井正晴  | 蓮田市   |
|      | 手塚正義  | 川口市   |
|      | 内藤義雄  | 鴻巣市   |
|      | 中里裕一  | 騎西町   |
|      | 中島康夫  | 蓮田市   |
|      | 中村榮男  | 岩槻市   |

平成14年度決算書・15年度予算書

収入の部

項目	14年度予算	14年度決算	15年度予算
<b>一般会計</b>			
期首繰越金	3,074,099	3,074,099	3,480,072
会費	4,000,000	3,868,000	4,000,000
寄付金	30,000	6,988	10,000
探鳥会参加費	300,000	260,630	300,000
雑収入	10,000	13,728	10,000
補助金	400,000	400,000	400,000
仮払い金清算	0	28,098	0
<b>一般会計合計</b>	<b>7,814,099</b>	<b>7,651,543</b>	<b>8,200,072</b>
<b>事業部会計</b>			
期首繰越金	1,190,172	1,190,172	1,342,336
運営準備積立金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
売上金	800,000	559,272	700,000
雑収入	10,000	1,253	3,000
<b>事業部会計合計</b>	<b>7,000,172</b>	<b>6,750,697</b>	<b>7,045,336</b>
<b>総合計</b>	<b>14,814,271</b>	<b>14,402,240</b>	<b>15,245,408</b>

支出の部

項目	14年度予算	14年度決算	15年度予算
<b>一般会計</b>			
什器備品費	200,000	35,970	100,000
消耗品費	50,000	7,567	20,000
支部報印刷費	1,100,000	1,052,352	1,100,000
支部報発送料	1,170,000	1,100,363	1,200,000
印刷コピー代	200,000	143,478	200,000
通信費	200,000	134,493	150,000
雑費	200,000	149,747	160,000
家賃	1,150,000	1,137,000	1,000,000
水道光熱費	60,000	52,121	60,000
総務部費用	100,000	87,560	100,000
普及部費用	220,000	189,025	220,000
編集部費用	50,000	49,500	50,000
研究部費用	10,000	820	10,000
予備費	500,000	0	500,000
仮払金残	0	31,475	0
期末繰越金	2,604,099	3,480,072	3,330,072
<b>一般会計合計</b>	<b>7,814,099</b>	<b>7,651,543</b>	<b>8,200,072</b>
<b>事業部会計</b>			
仕入代金	700,000	406,586	500,000
事業部費用	10,000	1,775	10,000
運営準備積立金	5,000,000	5,000,000	5,000,000
期末繰越金	1,290,172	1,342,336	1,535,336
<b>事業部会計合計</b>	<b>7,000,172</b>	<b>6,750,697</b>	<b>7,045,336</b>
<b>総合計</b>	<b>14,814,271</b>	<b>14,402,240</b>	<b>15,245,408</b>

- |         |       |
|---------|-------|
| 橋口長和    | 春日部市  |
| 長谷部謙二   | 川越市   |
| 菱沼一充    | 白岡町   |
| 福井恒人    | さいたま市 |
| 山部直喜    | 三郷市   |
| 吉安一彦    | 春日部市  |
| 監事 岡安征也 | 北本市   |
| 楠見邦博    | さいたま市 |

藤掛保司新支部長が新任と閉会の挨拶をして総会は終了。支部事務局に場所を移して、懇親会が夜遅くまで続きました。

# 2003年春 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

日 時：2003年 4月29日 9：35～11：30  
 場 所：さいたま市 大久保農耕地  
 天 候：晴れ



ムナグロ (編集部)

当日は高気圧に覆われ、絶好のカウント日和となりました。また、連休にもかかわらず、支部会員22名の協力が得られました。ご苦労さまでした。

観察された鳥種・個体数は6種 206羽で、昨年の春と比較すると、種数では2種類少なくなりましたが、個体数では40羽多くなりました。

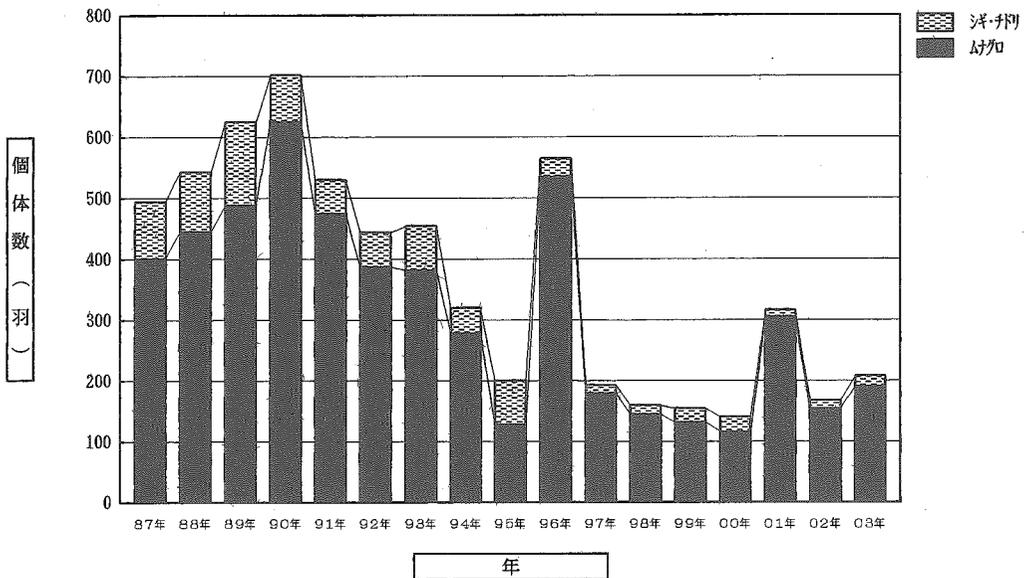
グラフから、1993年までは300羽を超えていたムナグロが、1996年を除くと100羽～200羽の間を推移していることが分かります。理由ははっきりしませんが、大久保農耕地の環

境の変化や他の地域の耕作が早くなったことなどが考えられます。

グラフは春のカウント結果のうち、大久保農耕地におけるムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類の個体数をまとめたものです。

(石井 智)

ムナグロとそれ以外のシギ・チドリ類



春のカウント結果 (大久保農耕地)

年	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	合計
調査日	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	4/29	
天候	晴れ	雨	晴れ	曇り	雨	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	快晴	快晴	曇り	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	
1 タマシギ				2														2
2 コチドリ	5	1	2	1	1	4			7	1		1	2	5	2	6	9	47
3 シロチドリ				1														1
4 ムナグロ	400	444	488	624	474	386	381	277	127	534	178	143	130	115	304	153	190	5348
5 ケリ																	1	1
6 キョウジョシギ	3	7	2	2				2	1			2	4		2	1		26
7 トウネン				1														1
8 ウズラシギ	2		2		1	1												6
9 ハマシギ	2		10	30			24	1		9								76
10 アオアシシギ			4		2	1	7	3					7					24
11 タカブシギ	50	52	69	16	4	6	6	13	25	5			1	5	2	1	1	256
12 キアシシギ	2			3								2	1					8
13 イソシギ	2		1									1					1	5
14 オグロシギ				1														1
15 チュウシャクシギ	12	6	7	8	3	1	13	12	11	3	10	2	5	11	4	2	3	113
16 コシャクシギ				1														1
17 タシギ	14	30	39	11	43	36	21	10	26	12	3	6	3	3		1	2	260
18 オオジシギ						3	2	1	2			1				1	1	2
19 ジシギ属	1	1																11
19 アカヒリアシシギ		1																1
シギ類						5												5
合計	493	542	624	701	528	443	454	319	199	564	191	158	153	139	315	166	206	6195

子供の科学本がおもしろい

山部直喜 (三郷市)

雨の日曜日、鳥の姿が少ないこの季節、近くの図書館に足を向けることが多い。ねらいは、子供向けの生き物関係の絵本や図鑑だ。

よく手にとるのは、あかね書房の「科学のアルバム」シリーズだ。虫、鳥、動物、地学、植物、天文の各シリーズがあり、あまりにもおもしろいので鳥関係の本を9冊まで個人的に購入してしまった。特に『フクロウ』と『ハヤブサの四季』はマーカーを片手に熟読するほどだった。

また、偕成社の「カラー自然シリーズ」、大日本図書の「子ども科学図書館」シリーズもよくできている。前者では『ハヤブサ』、後者では『つばさは友だち』を購入した。特に篠原五男著『つばさは友だち』は何度も読み、読むたびに「サンコウチョウとサシバの争い」や「野鳥をおそった悲しい運命」の臨場感が伝わってくる。

ともあれ、これら子供向けの科学本は、いずれも文字や図が大きく実に目に優しい。内容も「むずかしいことをやさしく やさしいことをふかく ふかいことをおもしろく」書



かれており実に分かりやすい。これは著者が優れた観察者ゆえと思われる。

その他、この頃目立つのは「～環境学習」、 「身近な自然を～」、 「総合学習～」、 「～を体験しよう」などの題名が付けられた How to 本だ。これらも手にとる本である。



**越谷市** ◇2月～3月、自宅の庭に餌台を作りヒマワリの種と水場を置いたところ、アトリが沢山来てびっくりしました。ホームビデオで撮影できました。秋ヶ瀬でも見かけますが、動きが早く、自分ではウオッチできません。ベテランの人に教わってアトリかと思うぐらいです。来年が楽しみです(ウダガワタケオ)。

**越谷市新西井** ◇5月4日午前8時50分～10時、県民健康福祉村公園とその南西側でコガモ4羽、カルガモ10羽、パン2羽、アオサギ7羽、ゴイサギ14羽、コチドリ1羽、コアジサシ6羽、シラコバト2羽、ツバメ2羽、オオヨシキリ2羽、ツグミ、ヒバリ1羽など。冬鳥のツグミとコガモがまだ残っていた。アシ原が前より少なくなり、ガマが多くなったせい、オオヨシキリ、ヨシゴイが減少、そしてパン、オオパンが増えた。ちょっとした環境の変化で生態系が変わるもんですね(小菅靖)。

**越谷市三野宮** ◇県立大学北側の田んぼに5月初旬からムナグロ50羽程が来ています。植えたての田んぼでついばんだり、畦道で羽を休めていました。他にもキジ、オオヨシキリが沢山います(ウダガワタケオ)。

**春日部市大池親水公園** ◇4月6日午後4時25分頃、キンクロハジロ♂24羽♀32羽。4月20日午後3時30分頃、めっきり数が減り♂2羽♀6羽残留のみ(石川敏男)。

**春日部市増田新田** ◇4月20日午後2時20分～2時50分、中野の田んぼでムナグロ23羽



サンコウチョウ(池内輝明)

十。4月26日午前9時30分～10時30分、同地でムナグロ18羽。4月27日午前8時15分～8時40分、同地でムナグロ17羽十。4月27日午前8時25分頃、自宅東方上空、中野中学校西側田んぼ上空でヒヨドリ50羽十、一団となって、北へ飛んでいくのを目撃。一時、農家の屋敷林のケヤキにとまったが、すぐに北へ飛び去った(石川敏男)。

**さいたま市浦和区岸町4丁目** ◇3月17日昼過ぎ、自宅庭で普段ヒマワリの種子を好んで食べにくるシジュウカラ、カワラヒワに混じって、初めて1羽のシメがやって来ました。初めてのお客さんは、注意深く他の鳥の様子を窺いつつ、ヒマワリの種子を得る機会を狙っていました。シジュウカラやカワラヒワより一回り大きいシメは、バードフィーダーにつかまっていた餌とりはちょっと無理だったのか、または、相当用心深かったのか、しばらくして、ようやく庭に降り立ちました。地面に落ちていた種子を見つけると、素早くくわえ、木の枝に戻ったものの、そこで種子をついばむことはなく、くわえたままどこかへ飛び去って行きました。渡りの途中だったのか、自然界での食糧が不足して人里にまでやってきたのか・・・。ほとんどさえずらないと言われる鳥だが、「ツューピーピー」と二声ほど鳴いてもくれました。ものぐさバードウォッチャーにとっては、至福のひとつでした(永田博子、青山恭之)。

**さいたま市北区日進町1丁目** ◇4月11日、ツミ1羽。4月23日朝、センダイムシクイ1羽、よく鳴いていた。4月25日朝、エゾムシクイ1羽、よく鳴いていた(森本國夫)。

**坂戸市多和目** ◇3月6日午前9時、自宅付近の「新しき村」田んぼでイカル40羽。セイタカアワダチソウに群れていた(増尾隆)。

**坂戸市城山** ◇3月13日、ベニマシコ♂1羽、枯れたセイタカアワダチソウの種子を食べていた。陽光が当たり鮮やかな紅色でした。すぐ傍の湿地では、トラツグミ1羽が採餌していた(増尾隆)。

**坂戸市西坂戸3丁目公園** ◇4月19日午前6時30分、木の枝でさえずるアカハラ1羽。

初めてさえずりを聞きましたが、クロツグミに負けない美声でした（増尾隆）。

**坂戸市高麗川** ◇4月22日、水辺の小枝でカワセミ♂1羽。♂が♀に小魚をプレゼントする求愛給餌が見られた。只今、恋の季節（増尾隆）。

**坂戸市入西** ◇5月3日、田植えの準備で水を張った田の畦でアマサギ1羽。今シーズン初認（増尾隆・節子）。

**川本町上原白髭神社周辺** ◇3月10日鎮守様の境内で今年初めてキジの鳴声を聞く。3月21日、鎮守様の鳥居の所で杉林の上空をツバメが旋回していた。この春初認。3月23日、自宅庭の芝生でシメ、餌を採っていた。3月26日、杜の中の雑木林でトラツグミ、藪の下で見られた。この杜での初認。まだら模様と黒い目が可愛い。3月29日、神社の西縁の木でツミ、この杜での初認。4月22日、近所の養鯉池でコアジサシ2羽、池の上を旋回していた。今年初認。4月27日神社の境内の桜の木にキビタキ2羽とオオルリ1羽がとまっていた。この鎮守の森での初認（大澤あつし）。

**上福岡市大井町境界付近** ◇3月23日、東武東上線西側でツバメを見ました。今年初認（井原精一）。

**狭山市智光山公園** ◇4月21日、アカハラ約10羽、林のあちこちでさえずっていた。センダイムシクイの鳴き声、ピンズイ、アオジ、シメ（久保田忠資）。

**川越市蔵の町一番街** ◇4月23日午後4時30分、「時の鐘」上空で円を描いて帆翔するチョウゲンボウ3羽（増尾隆・節子）。

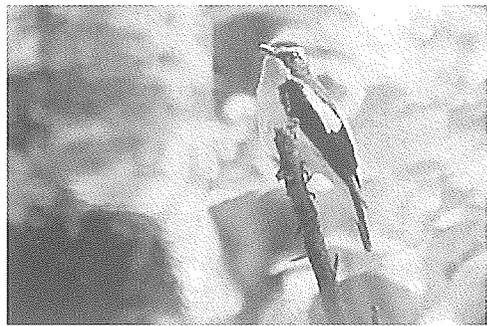
**所沢市山口** ◇5月2日午後4時頃、イカル1羽、自宅近くの電線でさえずっていた。5月3日明け方、アカハラのさえずりを自

表紙の写真

### ホシガラス（スズメ目カラス科ホシガラス属）

山歩きが好きな人にはおなじみの、亜高山帯の鳥である。針葉樹林帯に多いが、さらには上のハイマツ帯でも、姿をよく見かける。ある夏の朝、権現岳（ハケ岳）頂上付近で、この鳥がハイマツの枝をゆすり、葉にたまった露を体にかけていた。ハイマツの朝露で水浴びなんて、夏山を象徴するような、さわやかな光景であった。そうかと思うと、観光客でごった返す富士山五合目の大駐車場で、ゴミ箱をあさっていたりする。こういうところは、やはりカラスの仲間である。声もしわがれ声である。聞き慣れないと、カケスと間違えるかもしれない。冬は「エッ！ こんな所に？」と驚くほど、低地に降りて来ることがある。

（写真、松村禎夫 文、小林みどり）



キビタキ（池内輝明）

宅室内で聞いた（小林茂・ますみ）。

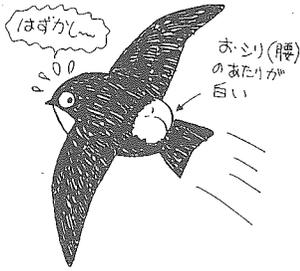
**東松山市箭弓** ◇5月3日、箭弓稻荷神社境内でツミ♀1羽、木の枝にとまっていた。周辺を飛び回っては元の枝にとまる行動を繰り返していた（増尾隆・節子）。

**横瀬町泉民の森** ◇5月3日、広葉樹の森でコルリ♂2羽♀3羽、オオルリ♂1羽♀1羽、キビタキ♂1羽♀1羽、クロツグミ多数、センダイムシクイ、ヤブサメ、ツツドリを確認。コルリの♀2羽が尾を立てて地面を歩いているところを見ていると、♂1羽がこれも尾を立てて現れ、♀を追いかけ斜面に消えた。枝にとまったキビタキ♂を見ていると、♀が飛んできて、組んずほぐれつの空中戦の後、これも♀を追いかけ林に消えた。ケラの森に轟き渡るようなドラミングをたびたび聞き、アオゲラの姿も何回も見かけた（小林ますみ）。

### ごめんなさいコーナー

7月号『野鳥情報』中、7ページの「越谷市中島 中川と新川の合流点のサギのコロニー」とあるのは、「中川と新方川の合流点のサギのコロニー」の誤りでした。お詫びして訂正します。

# 行事案内



ヒメアマツバメ (富士鷹なすび)

「要予約」と記載してあるもの以外は、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。参加費は、一般100円、会員と中学生以下は50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋。もしあれば、双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。

解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。悪天候のときは中止。小雨決行。できるだけ電車バスなどを使って、指定の集合場所までお出でください。

## 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：8月3日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口アイメガネ前から北里メディカルセンター病院行きバス8:40発にて「自然観察公園前」下車。

担当：岡安、大坂、内藤、島田、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、樋口

見どころ：夜明け前の東の空にオリオン星座が現れると、梅雨もあけてアブラゼミが鳴きだします。夏の暑い日には、ホバリングをして巣ビナに風を送るムシクイのことを、G・ホワイトが「博物誌」に書き記しています。鳥たちの苦勞に思いをはせる探鳥会。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：8月10日(日)

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:11発、または寄居8:49発に乗車。

担当：中里、和田、森本、石井(博)、倉崎、高橋(ふ)、後藤、藤田、栗原、大澤、飛田

見どころ：1年の中でも試練の探鳥会。ちょっとおおげさかな。言うまいと思えども暑い季節です。川面を渡って来る一陣の風に、涼しさを求めて出かけませんか？サギの仲間やセキレイの仲間など、真夏でも水辺には鳥が集まって

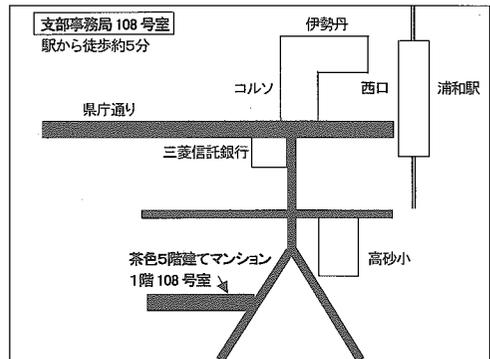
来ます。ツバメたちは、そろそろ旅立ちの季節。そんな彼らにエールを送りましょう。暑さ対策は十分に。

## 『しらこぼと』袋づめの会

期日：8月16日(土) 午後1時~2時ころ

会場：支部事務局108号室

案内：3ヵ月天気予報(7月~9月)によれば「今年は太平洋高気圧が強く、残暑は厳しくなりそう」とのこと。この日はちょうど盆休み。8月のド真ん中です。予報が当たらなくても暑い半日に変わりはありません。ご苦労様です、汗を拭き拭きよろしくお祈いします。



## さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：8月17日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館。

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺（周）、  
若林、兼元、森（力）、清水、小菅、  
新部、赤堀

見どころ：見沼田んぼも今は夏休み。お盆で  
田舎へ帰った鳥見人も戻ってきたが、  
少しお疲れ。残暑も厳しいが渡りの鳥  
の姿や声が聞かれるのはもうすぐだ。  
夏休みの鳥見の話をしなが、小道を  
歩いてみよう。鳥たちが出迎えてくれ  
るかも。是非どうぞ。

#### 千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：8月24日（日）

集合：午前9時40分、JR武蔵野線南船橋駅  
改札口付近。

交通：JR武蔵野線武蔵浦和8：34→南浦和  
8：37→南船橋9：30着

担当：杉本、菱沼（一）、手塚、長谷部

見どころ：干潟に繁茂するアオサの除去作業  
を行いました。鳥たちにとってどのよ  
うな変化があるか見守っています。お  
礼に珍客が出てくれるかも？ お楽し  
みに。暑さ対策の帽子、飲み物を忘れ  
ずに。

注意：7月中旬にダイヤの改正が予定され  
ていますのでご確認ください。

#### 千葉県船橋市・船橋海浜公園探鳥会

期日：8月31日（日）

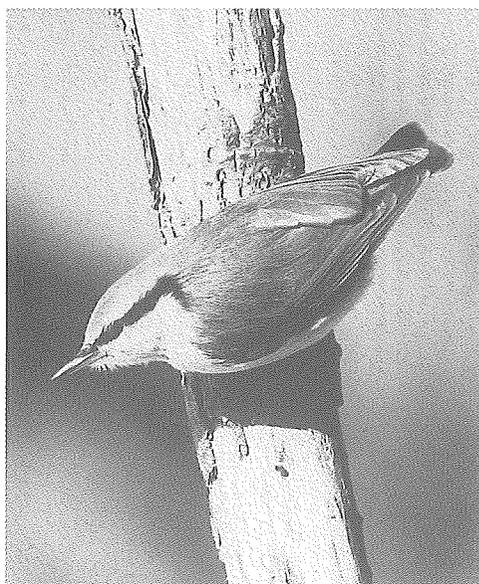
集合：午前9時30分、JR総武線船橋駅改札  
口付近。集合後京成バス9：40発船橋  
海浜公園行きに乗車、終点下車。

交通：JR武蔵野線南浦和8：30→西船橋に  
て総武線乗り換え、船橋下車。

担当：佐久間、菱沼（一）、玉井、齋藤、  
高橋（優）

見どころ：子育ても終わり、渡り途中の三番  
瀬ではシギ、チドリ類が多数休んでい  
ます。昨年はビッグなシギも立ち寄り  
しましたが、今年はどうなシギ、チドリ  
類が立ち寄ってくれるか楽しみです。

注意：海浜は日差しがまだまだ強く日陰もあ  
りません。帽子、飲み物をお忘れなく。



ゴジュウカラ（外園たけの）

#### リーダー研修会

期日：9月7日（日）午前9時～午後5時

会場：北本市中央公民館

（北本市本町1-1-2 TEL 048-591-7321）

交通：JR高崎線北本駅西口から、徒歩約10  
分。駅前大通りを真っすぐに西へ進み、  
二つ目の信号を左折して約100m。

申し込み：8月10日までに普及部榎本秀和  
へ。

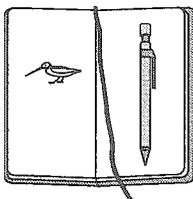
役員・リーダーも、必ず事前に参加  
申し込みをしてください。

参加資格：探鳥会や支部活動に、リーダーと  
して協力できる支部会員。

案内：当支部には専従職員はおりません。会  
員のボランティアで、探鳥会の運営を  
はじめ、すべての支部活動を支えています。  
あなたの新鮮な力をお貸しください。

野鳥の識別のための勉強会ではありません。  
また、野鳥の会本部のバード  
ウォッチング検定・同案内人研修会とも  
全く関係ありませんので誤解のなき  
よう……。

持参するもの：パンフ『探鳥会のすすめ方』  
（お持ちでない方は当日配布予定）、  
筆記用具。なお、昼食は当方で用意い  
たします。



# 行事報告

3月9日(日) さいたま市 見沼自然公園

参加: 41人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ マガモ  
カルガモ コガモ オカヨシガモ オナガガモ  
ハシビロガモ ホシハジロ チョウゲンボウ バ  
ン オオバン キジバト ヒバリ キセキレイ  
ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨ  
ドリ モズ ルリビタキ アカハラ ツグミ ウ  
グイス シジュウカラ メジロ ホオジロ アオ  
ジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシ  
ボソガラス ハシブトガラス (36種) 快晴だが生  
憎の強風となる。前半は強風のためか出現数が少  
なくリーダーを心配させたが、休憩後は思いがけ  
ずルリビタキ♀が出現し盛り上がる。見沼自然公  
園の池ではカモ類やバン、オオバンが肉眼でも十  
分観察でき、鳥たちとの一体感が出る。前回同様  
初心者には歓迎された。(工藤洋三)

3月9日(日) 松伏町 松伏記念公園

参加: 23人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ  
ヒドリガモ オナガガモ バン オオバン タゲ  
リ イソシギ タシギ ユリカモメ シラコバト  
キジバト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキ  
レイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ  
ツグミ メジロ カシラダカ アオジ カワラ  
ヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス (32種) 松伏町中央公民館のバ  
ードウォッチング教室として6人が参加。樹木のある  
公園の中はともかく、赤岩農耕地に出た途端、  
三脚も飛ばされる強風。その中でも鳥たちは地面  
に降りて、風を避けながらも餌探しに余念がない。  
負けてはならじと丹念に田んぼや畑、農道を探して  
4羽のタゲリと8羽のシラコバトの群れを見つ  
けたときには思わず歓声が上がった。ショートカ  
ットやら迂回やらと最後まで風に変更させら  
れたが、公民館の暖かい部屋をお借りして鳥合  
わせをしたら、なんと32種も見られたことが判つ

てまた感激だった。

(田邊八州雄)

3月15日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 14人

新井浩、伊藤泰一郎、海老原教子、海老原美夫、  
大坂幸男、尾崎甲四郎、倉林宗太郎、佐久間博  
文、志村佐治、藤掛保司、藤野富代、増尾隆、松  
村禎夫、百瀬修

3月16日(日) 長瀬町 宝登山

参加: 40人 天気: 晴

トビ オオタカ ノスリ キジバト コゲラ イ  
ワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨ  
ドリ モズ カヤクグリ ジョウビタキ シロハ  
ラ ツグミ トラツグミ ウグイス エナガ ヒ  
ガラ ヤマガラ シジュウカラ ホオジロ ミヤ  
マホオジロ カシラダカ アトリ カワラヒワ  
マヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ  
カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (33  
種) 青空をイワツバメが滑空し、エナガが巣材を  
運び、ウグイスの初鳴きを聞きながらの2時間の  
ハイキング。ベニマシコの胸がかなり赤くなっ  
ていたり、トラツグミが2羽で追いかっこをして  
いたり、ヒガラが忙しそうにさえずったりと春を  
満喫できた。(小池一男)

3月16日(日) 坂戸市 高麗川

参加: 27人 天気: 曇後晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガ  
モ カルガモ トビ オオタカ ノスリ チョウ  
ゲンボウ コジュケイ キジ バン コチドリ  
イカルチドリ キジバト カワセミ コゲラ キ  
セキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒ  
バリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ  
ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオ  
ジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ イカル  
シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラ  
ス ハシブトガラス (41種) カワセミに魅せられ

て朝の挨拶もしばしストップ。天神橋の仮橋手前で数メートル先のホオジロの群れを見ていたら、猛禽が飛び込んできて追い掛け回し、皆さん大興奮。オオタカ、ハイタカと議論になったが、その直後上空をオオタカが舞ったので、鳥合わせではハイタカは参考記録とした。いつもの鳥合わせの場所は、砂利採取中のため行けなかったが、次回からは水路も広く深くなるとの情報。ヤマセミが再び飛来することを期待。  
(藤掛保司)

3月16日(日) さいたま市 三室地区

参加: 105人 天気: 曇

カワウ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ バン コチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシブトガラス ハシボソガラス (32種) 前月が雨だったためか、春の陽気に誘われたのか参加者が100名を超えた。ボーイスカウトビーバー隊14名の参加もあって、特別にリーダーを振り分ける等てんでこ舞いであった。それでも春の花々が咲き乱れる見沼たんぼで楽しく鳥を見た。  
(楠見邦博)

3月21日(金、休) 秩父市 羊山公園周辺

参加: 33人 天気: 晴

カワウ カルガモ オオタカ ノスリ コジュケイ キジバト アオゲラ コゲラ イワツバメ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ アトリ カワラヒワ マヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス (30種) 西武秩父駅前で、今年もイワツバメの初認。菖蒲田の水溜りにヤマアカガエルの卵とオタマジャクシ。アトリの群れとマヒワの群れ。暖かくて風のない山道。頭上を飛ぶオオタカとノスリ。一方では、公園の整備が進むにつれて少なくなる鳥たち。カワウの侵入……。いろいろ感じる事ができる、それが探鳥会。  
(海老原美夫)

3月23日(日) 栃木県日光市 東照宮裏山

参加者: 41人 天候: 晴

カルガモ トビ オオタカ ノスリ クマタカ キジバト アカゲラ コゲラ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ カワガラス ミソサザイ カヤクグリ ツグミ キクイタダキ エナガ コガラ ヒガラ シジュウカラ ホオジロ アオジ アトリ カワラヒワ マヒワ ベニマシコ シメ スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (33種) 残雪が石に凍り付いていたのでコースを変更して階段を避けた。定番のカワガラス、ミソサザイに加えてカヤクグリとクマタカをしっかりと見ることができた。山の小鳥達も多く、このコース初めての人も常連の人も共に楽しめた探鳥会であった。

(玉井正晴)

3月23日(日) 狭山市 入間川

参加: 27人 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ トビ ノスリ コジュケイ キジ コチドリ イカルチドリ イソシギ キジバト ヒメアマツバメ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (45種) ツバメ、イワツバメ、ヒメアマツバメが舞っている。入間川にも春が来た。冬の間私たちを楽しませてくれた多くの鳥たちが帰っていく。ツグミ、シメ、初記録のベニマシコ。次の冬も元気で戻ってきてほしい。

(長谷部謙二)



ツミ (編集部)

## 連絡帳

### ● 県立浦和図書館に支部報寄贈

同館利用者から、『しらこぼと』のバックナンバーを揃えてほしいとの要望があったということで、ほぼ全号を寄贈しました。今後も各号ごとに送ります。

### ● 会員の普及活動

◇ 昨年 11 月から本年 3 月までの第 3 日曜日に 5 回、蓮田市中央公民館主催のバードウォッチング教室が開かれ、中島康夫、田中幸男、玉井正晴、吉安一彦、長嶋宏之が指導。参加者延べ 240 人。今回で 9 年間続きました。

◇ 5 月 21 日 (水) 本庄市立北泉小学校 5 年生 52 名の小山川自然観察会、6 月 4 日 (水) 同市立中央小学校 4 年生 112 名の大久保山早稲田の森野鳥観察会、6 月 5 日 (木) 同小学校 5 年生 115 名の同所観察会と鳥班 37 名の観察会、6 月 10 日 (火) 北泉小学校 4 年生鳥班 18 名の小山川観察会と野鳥分布マップの作成を、町田好一郎が指導しました。

◇ 6 月 4 日 (水) 川越市川鶴公民館主催の野鳥と自然観察会が小畦川と水鳥の郷の池周辺で開催され、高草木泰行、大坂幸男、藤澤洋子が指導しました。参加者 25 名。

◇ 6 月 6 日 (金) 上尾市立今泉小学校 6 年生 52 名の大正の森野鳥観察会で、大坂幸男、倉林宗太郎、阿久澤キクエ、志村佐治、永野安彦、永野京子、藤澤洋子が指導。スズメが雛に餌を与えるところやコゲラの巣穴掘りがゆっくり見られて、子供たちは大喜び。

◇ 6 月 14 日 (土) さいたま市立浦和博物館と三室公民館共催の親子探鳥会が見沼田んぼ周辺で開催され、楠見邦博、倉林宗太郎、森力、新部泰治が、見沼の自然、世界、子供たちの未来を鳥につなげて指導しました。参加者 19 名。

### ● 山階鳥類研究所からのお知らせ

平成 15 年度山階芳廬賞授賞式・受賞記念講演・記念シンポジウム「未来にはばたけ朱鷺」を、9 月 23 日 (祝) 午後 1 時 30 分から有楽町朝日ホールで開催します。

問い合わせ TEL: 04-7182-1101 FAX: 04-7182-1106 E-mail: koho@yamashina.or.jp

### ● 8 月の事務局 土曜と日曜の予定

2 日 (土) 9 月号編集作業。普及部会議。

9 日 (土) 9 月号校正。

16 日 (土) 袋づめの会。

17 日 (日) 役員会。

### ● 会員数は

7 月 1 日現在 2,533 人です。

## 活動報告

6 月 6 日 (金) ひろせ野鳥の森野鳥観察会に關する打ち合わせ (海老原美夫)。

6 月 14 日 (土) 7 月号校正 (海老原美夫・喜多峻次、山田義郎)。

6 月 15 日 (日) 支部役員会 (司会: 田邊八州雄、各部の報告・評議員会への対応・総会準備・9-12 月行事予定・その他)。

6 月 17 日 (火) 本部の常務会に出席 (海老原)。

6 月 28 日 (土) 本部の評議員会に評議員として橋口長和、理事として楠見邦博、監事として海老原美夫が出席。

## 編集後記

帰省の際、ヤイロチョウに会ってきた。噂の現地に着き、『日本野鳥大鑑・鳴き声 333』で予習した声を頼りに探すこと 30 分。使い慣れた双眼鏡ではっきり確認できた。落ち着いて耳をすませば、サンコウチョウ、キビタキの囀りも聞こえてきた。アカショウビンは来年の楽しみにして、1 日 2 本のバスに乗り込んだ。(山部)

しらこぼと 2003 年 8 月号 (第 232 号) 定価 100 円 (会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 中島康夫 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>

編集部への原稿 [yamabezuku@hotmail.com](mailto:yamabezuku@hotmail.com) 野鳥情報 [toridayori@hotmail.com](mailto:toridayori@hotmail.com)

住所変更退会などの連絡先 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階

(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608

本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生紙を使用しています。印刷 関東図書株式会社